

2022年度 総合的な学習の時間「渭北タイム」全体計画

本校の教育目標

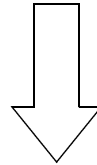
自主性・社会性・創造性に富み、確かな学力を身に付け、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

- ①自ら学び、考え、行動する子ども ②思いやりのある子ども ③たくましい子ども ④生徒指導の充実
⑤特別支援教育の推進・充実 ⑥信頼される学校づくり ※進んで 仲よく 最後まで

児童・地域の実態

古くから徳島の中心地であり、自然環境に恵まれていないが、様々な文化遺産や行政機関がある。

児童は、学力は相応の力を有しているが、自然体験・社会体験が不足しており、コミュニケーション力が十分ではない。また、興味を持ち続け追及し続けることも十分でない。



保護者・地域の願い

教育支援力は大きく、学力の向上を望んでいる。また、児童が地域へ愛着を持ち、学びを自分や社会に生かして欲しいと願っている。

(7) 目 標

自分たちの生活と地域の人や自然・社会との関わりについて探求することを通して、自ら課題を見付け、友達と協同して探求・解決する力を育てるとともに、自分なりの考え方・生き方を確かにし、よりよい生活を創造していこうとする資質・能力・態度を育成する。



(イ) 内容		3 年	4 年	5 年	6 年
探究課題		地域の歴史とそれに携わる人々	地域の福祉とそれに携わる人々	地域の防災とそれに携わる人々	自分の将来とそれに携わる人々
探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力	知識及び技能	・公共施設、公園、それに関わる人々など、地域のよさやすばらしさが分かる。 ・情報を比較・分類・関連付けるなど、探求の過程に応じた技能を身に付けている。	・公共施設、飲食店、大学などにある福祉施設、それに関わる人々など、地域の福祉のよさや実態が分かる。 ・情報を比較・分類・関連付けるなど、探求の過程に応じた技能を身に付けている。	・地域の防災施設、それに関わる人々など、地域の防災の取り組みが分かる。 ・情報を比較・分類・関連付けるなど、探求の過程に応じた技能を身に付けている。	・地域の人々が携わる様々な仕事のよさやすばらしさが分かる。 ・情報を比較・分類・関連付けるなど、探求の過程に応じた技能を身に付けている。
	思考力・判断力・表現力等	・自分の関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考えて追及している。 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。 ・相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ表現している。	・自分の関心から福祉についての課題を設定し、解決方法を考えて追及している。 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。 ・相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ表現している。	・自分の関心から防災についての課題を設定し、解決方法を考えて追及している。 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。 ・相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ表現している。	・自分の関心から仕事についての課題を設定し、解決方法を考えて追及している。 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。 ・相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ表現している。
	学びに向かう力・人間性等	・課題解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。 ・学習したことやその方法をふり返り、学習や生活に生かそうとしている。 ・自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解している。	・課題解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。 ・課題解決に向け、他者と協同して探究活動に取り組み、その大切さに気付いている。 ・自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解している。	・課題解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。 ・課題解決に向け、他者と協同して探究活動に取り組み、その大切さに気付いている。 ・自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解している。	・課題解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。 ・探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとしている。 ・自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解している。

(ウ) 学習活動

地域、伝統文化、福祉、防災、環境、生活、キャリア教育の内容を活動する中で様々な生き方と出会い、これからの自分の生き方をよりよく考え実践しようとする。

(エ) 指導方法

聞き取り調査の仕方や情報の整理の仕方、話し合い方などを他教科と関連させて指導する。

(オ) 学習の評価

単元ごとに資質・能力の項目を評価基準として具体的に評価。児童同士の相互評価、自己の振り返りも加味する。

(カ) 指導体制

学年教師のチームティーチング・全教職員による指導・研究体制を強固なものにする。

地域との連携、近隣の小学校・中学校・高等学校等との連携